

茶室を改修した客室—27日、兵庫県篠山市



古民家ホテル 歴史体感 兵庫・篠山

古民家再生を手がけるNOTE（ノオト、兵庫県篠山市）と、コンサルティング・ホテル運営のバリューマネジメント（大阪市北区）は27日、篠山市福住に古民家を改修したホテルを10月3日に開業すると発表した。2020年までに同地区で新たに3軒を計画しており、歴史的な町並みや文化を体験できる「古民家ホテル」を展開する。

新ホテル「福住宿場町ホテル NIPPONIA（ニッポニア）」は、江戸時代末の1860年ごろに建てられた邸宅を7つの客室とレストランに改修。茶室や蔵、作業場の壁や柱をできるだけ残した。

古民家ホテルは、今年6月施行の改正旅館業法に基づき、分散した建物でも一つのホテルとして営業許可が得られる「分散型ホテル」として一体的に運営するという。

宿泊代は1室2人利用の場合、1泊1人2食付きで3万2千円から。国内外の観光客を狙い、客室稼働率は80%を目指す。